

□文化振興計画策定庁内作業部会（第 1 回会議）での意見

① 意見交換から

都市計画課：総合計画は子育て世代に重点をあてようと進めている。学校のアンケートをみても、カリキュラムの余裕がないというのも正していく必要を感じた。また行革から文化施設の 3 館の統合の噂も聞こえてくるが、関わりある方は 3 館を残しておくべきとの意見が多いのは当然。一方市民アンケートでみると回答率が低いので、あまり興味がないのかと思う。

子育て施設課：アウトリーチはいい経験になった。アンケートでは賛否両論だが、本当は続けて欲しかったが、コロナで途切れてしまった。マドカホールの利用もしたいと思うが、マドカホールまでの交通手段がないので利用できない。人形劇の鑑賞は毎年保育所に来てもらって続けている。若い職員（保育士）が文化事業を体験して、現場に反映できれば、子ども達の文化体験にもつながっていいと思う。

② 現在の文化振興計画について

観光課：基本目標Ⅲ-2 伝統行事の保存・継承のリード文に、だんじり祭をあげているが、浮いている感じがする。他にも色々伝統行事があるので、まず伝統行事とあげておいて、一例で下にだんじり祭とした方がいいと思う。観光振興協会が岸和田城で、食文化の紹介などしている。

都市計画課：基本目標Ⅲ-3 の 1 行目は何が言いたいのかわかりにくい。環境を守る取り組みならわかるが、景観は団体ではなく市が行っている。開発の時に景観を守るための指導なので、次世代につながる取り組みと言えるかどうか。どう記載すればいいか考える。環境となると、環境保全課や水とみどり課も関わってくるので意見を聞きたいと思う。

③ 情報発信について

都市計画課：総合計画の見直しで、市民懇話会でも危機管理と情報発信が的になっていた。都市計画課で説明会を各市民センターで開催しても、毎回 5 人くらいしか来ないが、説明会の内容をユーチューブで発信したら、100～200 件ほどの視聴があった。「岸まる」も使っていて、前回の議会でも「ラインを使えば」などの意見が出ていた。SNS を活用しながら発信し、部内や庁内の職員にも掲示板を使って知らせている。また、図書館など公共施設にチラシを配架している。応募する時にどんな講座かわからないので、CM のように予告が流せたら、もう少し関心を引くことができるかも。文化振興計画に IT の活用についても、もう少し記載できればと思う。

資料1

生涯学習課：講座の内容によって抽選になるものあれば、身内に声かけて集めるものもある。情報発信は問題になっていて、公民館は高齢化率が高く、若い方に来てもらうために、インスタの活用を始めた。募集と講座が終わった後に、楽しかった様子を発信して、次に繋げていこうとしている。

図書館：ブラッシュアップも必要だが、次々事業がある中、マンパワー不足で、どこまで注力できるか。民間と違って市なので、どんどん発信するわけにもいかず、チラシを配っても、やっぱり広報紙を見て知るという方が多いので、デジタルの部分もどこまでできるか難しい。

観光課：イベントは観光振興協会を通じて発信している。ただ情報発信をしても、興味・関心がないと調べないので、引っかからない。

人権・男女共同参画課：関係団体は講演会などに来てくれるが、一般の方はあまり来ていない。講座をしても、若い人はネットで調べて講座にわざわざ来ない。

郷土文化課：チリモンのような人気イベントだったら来てくれるが、それ以外はあまり来てくれない。他の博物館なら独自のサイトで発信しているが、自然資料館は市で発信しているので、市の他の情報にすぐに埋もれてしまう。フェイスブックなどは広報に正式に依頼してあげてもらっているが、承認をしてもらう必要があり、土日休みだとすぐに承認してもらえない。独自のツールがあれば、すぐに発信できるのにもどかしい。

障害者支援課：大人も子どもも、ずっと携帯（ユーチューブ）をみている。今まで作品展の告知も紙媒体とするのが精一杯。保護者向けにおたよりを作っていて、それを見て来てくれる方が多い。今年は100周年で企画課に助けられて、来場者が増えたが、どうしたらいいかと思いながら今年も終わった。

都市計画課：健康推進課を通じて、大阪府の健康アプリを活用し、景観資源の場所に訪れるとポイントがたまるという事業を行っている。ポイントがたまると順位が発表され、毎月及び毎週、抽選でプレゼントがあたるので、特に高齢者の方々が結構好評である。他にも違う分野を活用して、周知できるものはないか模索している。

観光課：見る観光は遅れてきていて、今は体験型が主流になっている。子どもも見るだけでは飽きるので、ただ見たり聞いたりするだけでなく、一緒に体験できた方がよい。